

～秋さけ定置・さんま棒受網漁業で大型支払の見込み～

秋の風物詩である秋さけやさんまは近年不漁による大型支払が続いておりましたが、今年も大型支払となることが見込まれております。

今年の秋さけの漁獲量は、北海道で昨年の3割減、東北地方の岩手県、宮城県では昨年の8割減と極めて厳しい状況となっております。また、さんまは漁場が近海に形成されたため漁獲量は昨年より3割増となりましたが、小型化に伴う単価安により昨年度程度の漁獲金額水準となっております。

今年も不漁・魚価安をはじめ、台風・赤潮等の自然災害や ALPS 処理水の海洋放出に伴う風評被害など懸念事項の多い年でしたが、漁業経営を守る唯一無二の制度である「ぎよさい」と「積立ぶらす」への漁業者からの期待に応えられるよう努めて参りますので、来年も引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年度の加入実績（11月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
漁 獲 共 済	207,864	205,329	101%	16,122	15,867	102%
養 殖 共 済	224,815	199,875	112%	8,703	7,688	113%
特 定 養 殖 共 済	93,542	93,788	100%	3,293	3,326	99%
漁 業 施 設 共 済	17,674	17,530	101%			
地 域 共 済	9,802	9,741	101%			
合 計	553,697	526,264	105%	28,118	26,881	105%